

【編集後記】

某大手芸能事務所の性加害問題が、連日マスコミを騒がせています。英国の放送局が番組で報じて以来、被害者の赤裸々な証言がせきを切ったようにメディアに取り上げられ、その実態が明らかになってきました。

加害者は既に亡くなっているので、メディアによる攻撃の矛先は専らこの芸能事務所に向かっているようですが、実は24年前の1999年にも、『週刊文春』が、14回にわたる集中連載で取り上げていました。しかしその時、後を追うメディアはほとんどありませんでした。

筆者も、たまたま昔から『週刊文春』を読んでいたのですが、この集中連載記事をよく覚えています。記事の内容よりも、文春だけが執拗（しつよう）に報じて、他のメディアが申し合わせたように沈黙を貫いている状況に、言い知れぬ異様さを感じていました。もしかしたら24年前の時点で今のように騒ぎ立てていれば、その後の被害者は救われていたかもしれません。

ただ、異様と感じつつも、そういった状況がしばらく続く「文春ならではの記事だったのか」と思ってしまい、やがて関心も薄れていきました。今考えれば、年端のいかない少年たちが被害者だったわけですから、深刻極まりない事態だったのですが、とくに

かく読んで気分の良い記事ではなかったので目を背けていたというのが正直なところでした。

事の内容は全く違いますが、今回の問題では、1974年の田中角栄首相の金脈問題を思い起こさせます。この時もきっかけは『週刊文春』の出版元である文藝春秋でした。フリージャーナリストの立花隆氏が田中ファミリー企業群の金脈を暴き、雑誌『文藝春秋』で特集記事を組みました。当初は田中首相もノーコメントで押し通していましたが、欧米メディアがこの問題を取り上げ、日本国内でも広く注目されるようになり、ついには首相退陣にまで追い込まれました。特集記事が世に出たとき、大手メディアの政治部記者たちが「そのくらいのことは皆知っている」とうそぶき、ひんしゅくを買ったというエピソードも当時のメディアの実態をよく表しています。

『電機』は、発行部数も些少な業界誌で、社会的影響力も異なりますが、他山の石としたいと思います。

(sage)

電機

2023年10月号 No.835
2023年10月26日発行

頒価550円(本体500円)

発行 **JEMA** 一般社団法人日本電機工業会
THE JAPAN ELECTRICAL MANUFACTURERS' ASSOCIATION

編集兼発行人 提嶋 毅



〈表紙の言葉〉

誌名のローマ字表記である“DENKI”をメインビジュアルとすることで、電機産業の発展が社会や人々に貢献し続けた歴史を振り返るとともに、より安心で便利な未来のために、これからもますます進化し続けたい、という思いを表現しています。

〈誌面の文字〉

読みやすさを求め、多くの人が利用可能なデザインをコンセプトとした「ユニバーサルデザインフォント」を基本にしています。

〈JEMA公式YouTubeチャンネル〉

自然災害の緊急対応から一電気設備の迅速な復旧のためにー



近年頻発する自然災害に対して JEMA 会員各社が行った緊急支援の中から、災害に備えるために教えることをまとめています。

制作/JEMAフィールドサービス専門委員会

当機関誌『電機』では、編集に当たり表記の統一を図っておりますが、一部記事につきましては、筆者様のご意向を尊重させていただきます。

(JEMA会員については会費中に本誌頒価が含まれています) [2023 © 禁無断転載]

印刷所

港北メディアサービス株式会社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-7-7

- 本部 〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地4 電機工業会館
電話 03-3556-5882 ファクシミリ 03-3556-5892 本誌 編集部
- 大阪支部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25 中央電気倶楽部4階
電話 06-6344-1061 ファクシミリ 06-6344-1837
- 名古屋支部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル6階
電話 052-231-5211 ファクシミリ 052-231-5610
- 九州支部 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル北館10階
電話 092-761-4778 ファクシミリ 092-751-2094



- 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅(Z05)下車 4番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 麹町駅(Y15)下車 3番出口より徒歩7分